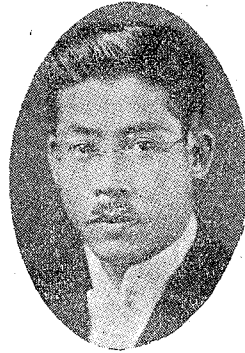


交通調査の結果をして意義あらしめよ



神奈川県土木部
調査課長

梶 井 照 藏

道路改良會主催の昨年十月廿五日より三日間に亘り、全国的に舉行せられたる道路の交通情勢調査は、直接に間接に道路の改良に裨益する所頗る大であると思ふ。

即ち直接には之等の調査の結果は、交通の情勢を數字的に正確に示して居るから、之を比較研究すれば、道路改修の緩急を公平に判断するを得、又技術的には其工法決定の標準となり、幅員、勾配等の決定より、進んで舗装の撰擇等をも行ふ事が出来るのであるが、然も之より更に有効なるは、間接に民衆に道路の觀念を與へたる事である。

多くの要所々に設けられたる調査の關所は、事柄が珍らしいだけに、非常に民衆の目に止り、之を尋ねて其の交通調

査なるを知るや、目的は言はずして道路の改良にある事は明かなので、其の印象は實に深い事と思ふ。

如何に交通調査が人目を引いたかは、自分が巡視した際、或地方では土地の子供等が集まり、恰かも調査に従事せる青年團員の如く、圖板を首に掛け、交通調査の眞似事をして居るのを見た事に徴しても明かで、眞に三歳の兒童迄感ぜしめたのである。此道路觀念に就ては、已に昨年歐洲便りとして、獨逸の一例を掲げて、本誌にも一寸述べて置いたが、歐米では殆んど先天的とも見へる程に發達して居るにも拘らず、我國民の之に對し冷淡なる事は實に不思議な位である、従つて我國の道路の悪い事も當然で、悪いと云ふよりも歐米に比すれば、寧ろ我國には道路無しと云つても良い位である。之は自分が今茲に改めて云ふ迄も無く、道路改良會の起つた所以も其所に有るのである。

道路改良會の實績着々として擧がり、我國の道路の改良がどん／＼進んで居るのは、誠に結構な次第であるが、それでも未だ前途は遼遠である。

之に關して先月號の本誌に於ける、田中氏の大阪朝日紙に對する産業道路問題の駁論を見て、非常に感じた事がある。それは朝日新聞の所論に誤あり、田中氏が一々明確にこれを指示し、其蒙を啓いて居る事は、何人と雖も首肯し得る所であるが、自分は斯かる論議が行はれると云ふ事自體が、今日の我國に取りては時期尙早であると思ふ、如何となれば田中氏にしても朝日紙にしても、相當の道路改良が完成せる事を前提として論じて居るが、果して今日其域に達して居るであ

らうか。

成る程前にも述べたる如く、道路改良會の後援と、内務省當局の熱心なる努力に依り、着々として道路改良の計畫が確立せられ、其實績も見るべきものがあるが、偕て其完成した部分は果して全體の幾パーセントに達して居るであらうか、全國から見る時は誠に一小部分に過ぎずして、大部分は矢張り在來の砂利道に甘んじて居るのみならず、全然未改修のものすら澤山に有る状態である。

幸にも今回内務省の努力に依り、第二次計畫として産業道路の認められた事は、誠に結構の事であるが、之でも未だ充分とは云へないのであるから、假令名稱は何であらうとも、進んで第三次、第四次とどしどし計畫し、實行して貰ひ度い英國に於ける問題の如きは、先づ其後に例證せらるべきものである。

只だ斯くの如く事業を進めるに當り、之を政黨者流に悪用せらるゝ事は避け度いもので、此點は田中氏も朝日紙も一致して居り、當然の事ではあるが、偕て實行となれば、今日の我國の状態では、中々困難の事であるから、吾人は努めて嚴正公平の態度を以て之に臨まねばならぬ。

○

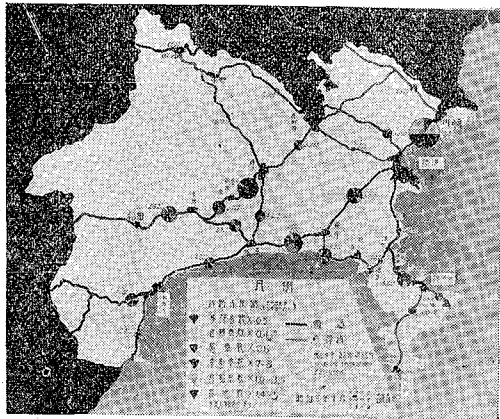
道路交通調査は、此弊害を打破するに、最も有力な武器であるから、充分之を利用し度いものであるが、調査表は随分浩瀚なものであるから、中には單に調査を済ましたと云ふだけで、表は其儘仕舞ひ込んで置く人が無いとも云へぬが、之では宣傳したと云ふ効能はあるかも知れぬが、未だ充分に利用したのとは云へぬから、進んで其結果の利用法を研究し度いものである。

其一法としては、調査の結果を或は圖表にて示し、或は統計表を作る等の、成るべく簡單明瞭なる方法で、一般に廣く知り渡らしめる事も必要であると思ふ。

此意味に於て、神奈川県では、丁度調査後數日、新築廳舎披露の爲め、三日間に亘り、普く廳舎の内部を開放し、一般に縦覽せしむる事となつたので、

此機を利用し、幾分にも調査の結果を宣傳せんと欲し、取り敢へず圖の如き、占用値より見たる縣下主要道路の交通圖を作り、展覽せしめたのであるが、之は何分時日なく未だ報告も出揃はない内に、急いで作つたものであるから、完全なものでなく、又一面には多少専門的で、一般には稍々了解し難い缺點はあるが、それでも大體の様子は、明かに知る事が出来るのである、尙ほ研究して

占用値より見たる主要郡部間交通圖



一層平易なものを作れば、大に役立つ事と思ふ。又今日の如く、自動車の發達特に著しき時代に於ては、交通状態は、年と共に變化して行くから、此交通調査も一回文だけでは其の効が無いから少くも毎年一回は施行し度いものである。

調査に要する費用の如きも、やり方に依つては僅かで済み、本誌前月號では來年度は、之が豫算を要求して貰ひ度いと云ふ、道路改良會の希望もあつたが、別に要求する程のものでも無く、既決の調査費或は測量費等の一部を、流用すれば足りるのであるから、是非とも本年も實行せられ度い。

参考の爲め神奈川縣で、今回の調査に要したる費用を示せば次の通りである。

交通調査費

- 一 支出費目
 - 一 支出金額
- 臨時部、縣費、土木費、調査及測量費ノ内
一金貳千五百圓

内 譯

金貳千參百五拾八圓 調査人員七百八拾六人、一日一人金一圓宛三分

金參拾圓 ゴム付鉛筆七十五打、一打金四十錢

金參拾六圓五拾四錢 蠟燭千八百二十七本、調査箇所二百〇三箇所、一箇所一夜三本宛三夜分

金壹圓四拾七錢 マッチ二百十箇

金七拾參圓九拾九錢 調査表送料、調査員標章、切手其他

神奈川縣では、早くより交通調査の必要を認め、道路改良會より依頼ある數ヶ月前に、已に之を施行すべく一切の準備を調べたが、時期不適當との説あり、暫く延期中の處へ偶々改良會より、時期を指定して依頼があつたので、一層力を得て直ちに活動を開始し、施行の結果を見て、將來は多少其數を減ずるにしても、兎に角此際は一は、宣傳の爲め成るべく多くの箇所を調査する事とし、國道、府縣道に於ては別圖の如く、二百〇三箇所、從事する調査員七百八十六人とし、之に要する費用は縣費負擔とし、尙ほ此機を利用し、都市計畫基本調査のものも兼ねて同時に施行する事とし、都市計畫法施行都市たる、横濱、横須賀、川崎の三市及び將來縣限りの都市計畫を施さんとする主要都邑たる、小田原、平塚、厚木、藤澤、鎌倉の五ヶ町地内にて、總數七十ヶ所を撰び、調査員及び之に要する費用は地元負擔とし、各市町村長、帝國在郷

軍人會、各市郡聯合分會、各市郡聯合青年團へ依頼狀を發すると同時に、各土木出張所に其管轄區域内の責任を分擔せしめ、豫め調査員を召集して、調査の要領を説明し、會得せしめ、或は豫行演習を行はしめたる所、各員は頗る熱心忠實に之に當り、實際調査の結果は、初めての試みなるにも拘らず、豫想以上の好結果を擧ぐると同時に、前述せる道路改良宣傳の目的を、充分に達する事が出来たのである。種々調査に關する實驗談等もあるが、本稿の目的でないから省略し、只管本調査の利用を完からしめられむ事を祈つて擱筆する。

◇

×

×

◇